

神奈川ウォーキング 参加H26-09



日時 : 平成 26 年 9 月 27 日 (土)

集合 : 小田急線秦野駅 9 : 30 9 : 43 発平塚行バス

コース : 秦野駅<バス>→南平橋→東名高速峰ノ上橋→権現山→加茂神社→名古木→光明院→東公民館  
小蓑毛バス停→宝蓮寺(大日堂)→小蓑毛バス停 15 : 03 →秦野駅  
約 18,000 歩 約 10 km (伊藤自宅含め 23,500 歩)

参加者 : L 常盤・S L 餐場・藤崎班長・熊坂班長・伊藤班長・神谷・小野里・新谷・山川・柳町・勅使河原  
・大平・奴田・青松・佐藤繁・中川・草野・宮野・関水・清水修・市村・志村・山口 合計 23 名

天候 : 晴れ

2015. 1. 1 で市制 60 周年を迎えます。



御挨拶

日頃より、私たち公益社団法人秦野青年会議所の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。お陰様を持ちまして、公益社団法人秦野青年会議所は本年で五十一周年を迎えることができました。

江戸時代初期から始まった秦野のたばこ栽培は、昭和五十九年に三百年余続いた歴史に幕を閉じました。先人がたばこ耕作に注いだ汗と情熱と技術革新へのたゆまぬ努力の根源は、今なお私たちの心の中に脈々と受け継がれています。

本年も、先人が灯した「火」をテーマに「第六十七回秦野たばこ祭」を、ここに盛大に迎える運びとなりました。

私たちが公益社団法人秦野青年会議所では、今から二十余年前、この火をテーマにした「秦野たばこ祭」で使用する火を市民協力の上で起こすことが出来たのかと考へ、「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」を企画しました。

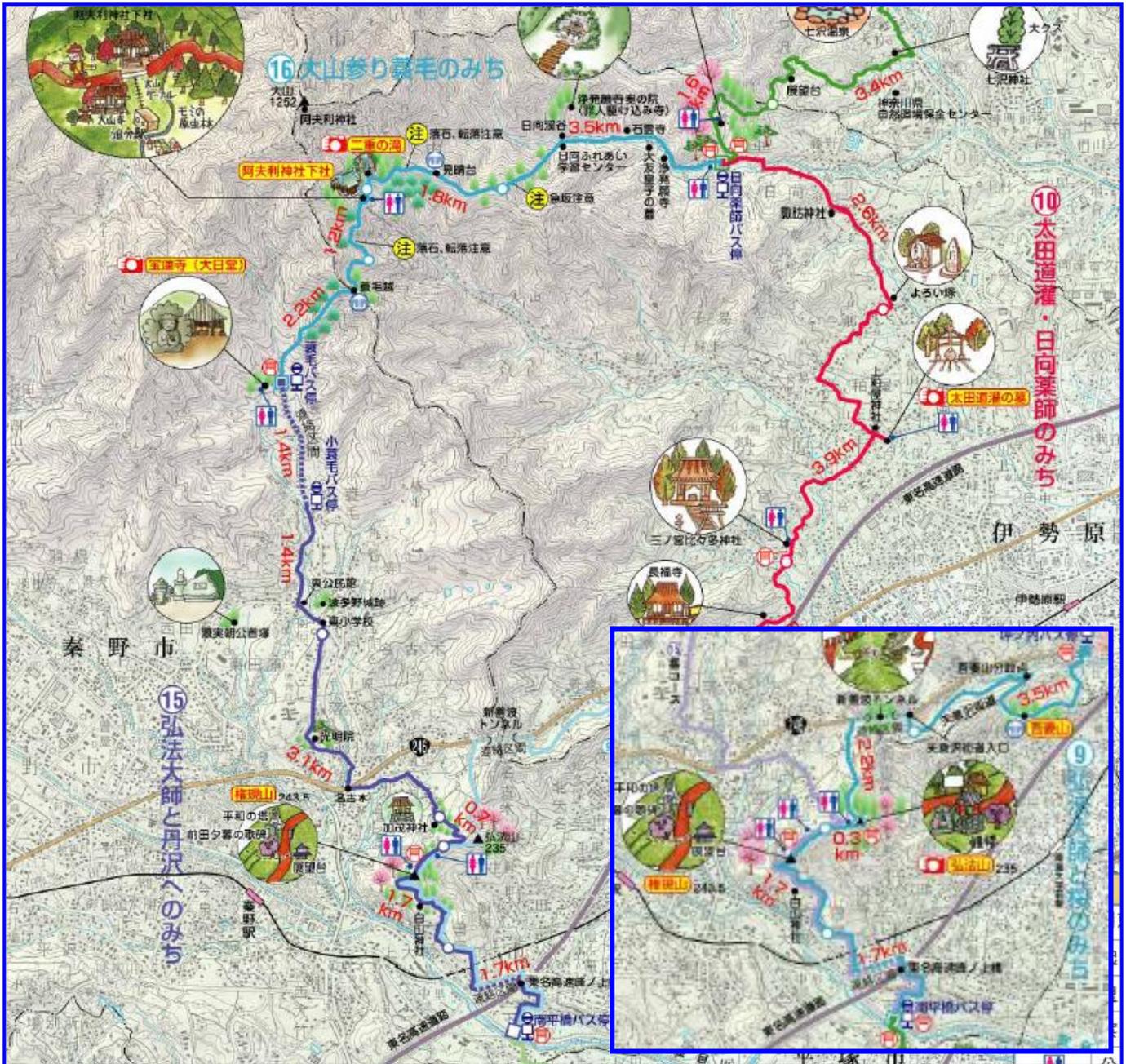
火の起こし方は、硬い木(檜)と軟らかい木(杉)との摩擦熱により点火するという、火起こしの起源に最も近い原理を使用しています。他に類のない試みでしたので、当初は点火に至るまで多大な苦労や失敗を繰り返しました。しかし二十余年の歴史を重ねた試行錯誤のうちに、「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」は多くの人に楽しんで頂けるイベントとなり、今日に至ります。

本年第二十八回となる今回のコンテスト形式は、昨年と同様、秦野市内の九つの中学校区別のチーム編成で競技。その後に昨年私たち公益社団法人秦野青年会議所が提言いたしました「秦野サイクルン・ティー構想」の4本柱の一つ「楽しい」自転車活用の一環といたしましてプロライダーによる「BMX ショー」を開催いたします。

是非、当日九月二十七日(土)午後四時三十分には、本町小学校校庭へご来場頂き、参加選手に熱い声援をお送り下さいますようお願い申し上げます。

二〇一四年度  
公益社団法人 秦野青年会議所  
理事長 長澤 健

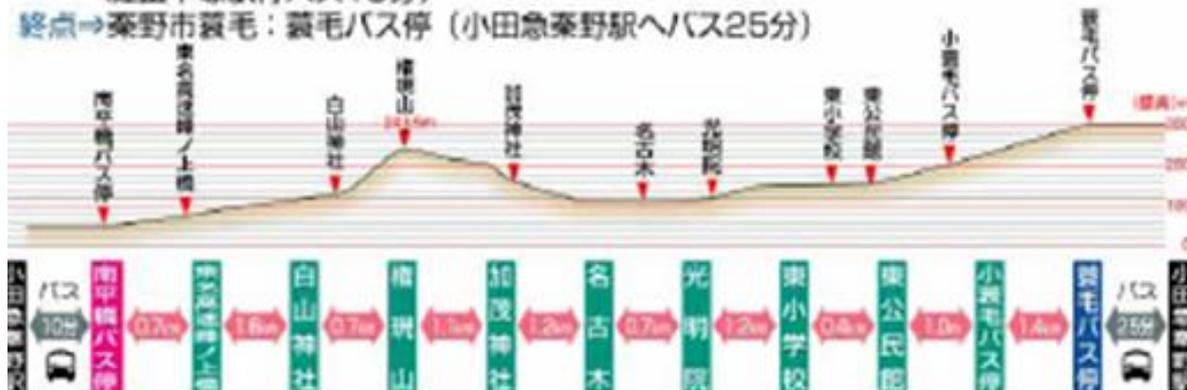
【コースマップ】今日のコースは南平橋から権現山まではNO9「弘法大師と桜のみち」<平成26年1月11日(土)>と同じコースです。



【高低差】権現山 (243m) から名古木 (ながぬき) 交差点 (100m) まで下りますが再び終点「宝蓮寺」(大日堂) (300m) まで緩やかですが登りの続きで、大山 (1252m) 裏参道です。

起点⇒秦野市下大槻：南平橋バス停 (小田急秦野駅から神奈川大学前行、南平橋・金目 経由平塚駅行バス10分)

終点⇒秦野市葦毛：葦毛バス停 (小田急秦野駅へバス25分)



秦野駅改札口で常盤Lと熊坂班長お出迎えと地図渡し。

たばこ祭「ジャンボ火おこし」と「たばこの木」を背景に3熟女



バス乗り場①から9:43発のバスに乗り、全員座って行きました。「南平バス停」9:55到着。平塚組小野里さんと新谷さん2人お待ちでしたが、高橋文さんはいない。稲刈体験学習中の田圃道を「健速(たてはや)



神社」に行く。

熊坂さんによるストレッチとL常盤さんのコース説明と班分け発表。1班班長藤崎、2班班長熊坂、3班班長高橋文さん代行伊藤指名される。(高橋さん結局最後まで合流出来ず)



東名高速道の「峰ノ橋」を渡り「蓑毛」まで8, 3 kmの看板。



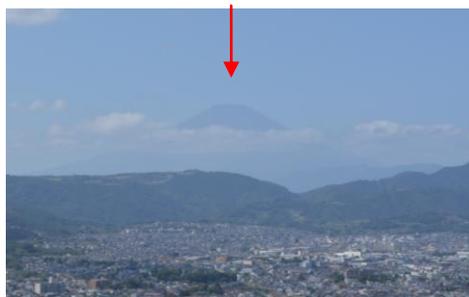
小さな神社のある台地木陰で給水タイム。おやつを数名から戴く。艶の良い果樹園の傍を通り県道を登る。



緩やかな道路を歩くと権現山登山口の駐車場到着 11:05 5,000歩 権現山まで150mの階段登り。



【権現山】243.5m 11:25 頂上展望台から富士山が見えました。360° パノラマ右広場の上は大山。



11:30~12:10 【昼食】 展望台周辺で。今日は土曜日であったが以外に人は少ない。



若いお嬢さんにカメラシャッターお願いし、展望台を背景に伊藤も入り、全員23名集合写真



権現山を下ると、**弘法山分岐点**に出る。ここを左に下る。羊小屋があり、前にはレストラン有り。



栗林の傍を歩き銀杏の実が落ちている道を行くと【**加茂神社**】

拾った銀杏の実をお供えしました。



12:30 8,300歩 ここで一休み、給水タイム。

「**蓑毛**」の看板が見えてきました。



美味しそうなイチジク (無人販売無)

難しい読み名の**名古木 (ながぬぎ)** 交差点を渡り



大山詣り裏参道を蓑毛に向かって緩やかな道路を登ります。

【光明院】天台宗 13:00 11,800歩 給水タイム

萩も咲いていました。



コスモスの花壇の傍の歩道を、大山を眺め、青いミカンの下を歩く。



「金目川」を渡り「東公民館」でトイレ休憩し、ペットボトル補充。コスモスと真黄色の稲穂、そして大山



【阿夫利神社】大山詣り裏街道入口。小蓑毛バス停。

「自然観察の森」の水車。「澄みとおった音が綺麗ね〜」



このあたりから歩行早くなる。新谷さん 青松さん 先導の様です。



「**蓑毛バス停**」の橋を渡ると20mで【**宝蓮寺（大日堂）**】NO15コースの撮影ポイントです。



＜**関東ふれあいの道NO16 大山詣り蓑毛のみち 2013.10.12（日）**＞のスタート地点。

P1 巻頭の集合写真は、伊藤撮影。下の写真は山川カメラマン撮影で伊藤も入らせて戴きました。



【**大日堂**】HPから引用させて戴きました。

大日堂は宝蓮寺（大日堂諸堂を管理しているお寺）縁起によると奈良時代の「天平14年（742年）聖武天皇勅願所として大日堂を建立し」とあり、「翌15年行基や良弁僧正の努力で蓑毛大日堂に五智如来が造立された」とあります。その当時の様子は「貴賤男女の参詣は日夜市をなした。」とあり、威容を誇る大日堂に参集する情景が描写されています。その後は中村兵吉氏が著書『相模の国府と国分寺』の中で、相模の国分寺は最初海老名国分にあつたが、奈良時代の平地仏教が平安時代の山岳仏教に移ると、元慶2年（878年）頃海老名より大住郡の蓑毛に移り、大住郡の国分寺で相模の国の政治の祈祷や祭式が行われたと推論されます。

木造聖観音菩薩立像



大日堂



五智如来

【茶湯殿（地藏堂）】



木造十王象



奪衣婆像



【仁王門】



左写真は吽形(うんぎょう)像、右写真は阿形(あぎょう)像

【不動堂】



境内で熊坂さんク  
ールダウン  
18,000歩 山歩きの  
為、約10km  
蓑毛バス停発



15:03バスに乗る。駅近くは祭で渋滞。

15:40秦野駅到着解散。有志12名で、駅前通りに有る「一郎屋」でアフターウォーク。

【たばこ祭】見物 18:30~19:15 皆さん祭が大好きです。ビールも追加サービス。



編集後記：常盤しさん下見は平野さんとされたようですが、平野さん体調不良で不参加。この地の詳しい高橋文さんも急遽参加出来ず。餐場さんSLで応援。好天に恵まれ、「たばこ祭」の中ご苦労様でした。厚くお礼申しあげます。

いつものボケ防止用の日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんがお許しの程。